

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 ☒ 支 援 部 門 都整-31 運営事業(下水道特会)										
主管課	都市整備総務課				関連課		部内関連各課				
分野名	下水道・河川										
目標 (目標値)	事務事業の進行管理及び連絡調整を行い、円滑な執行を行う。										
人口等のデータ	データ区分	25年度			24年度			23年度			備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)
	人 口	177,895人			177,224人			177,204人			
	世 帯 数	80,295世帯			79,669世帯			79,217世帯			
	事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	69,309			48,278			30,011			
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	69,309			48,278			30,011			
	人員配置数	1.0人			1.0人			1.0人			
	人 件 費(千円)	8,626			8,241			8,982			
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	77,935			56,519			38,993			
	市民1人当りの経費(円)	438			319			220			
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	22年度		23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度)
		目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値									

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
運営事業	69,309	運営事業	44,318	今後の 方向性	A	理由 ・手法	平成26年度からの取組として、公営企業会計への移行に向けた作業に着手する。また、下水道施設等の被災時対策として下水道BCPを策定する。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	予算の適切な執行管理を行うほか、下水道使用料の改定や公営企業会計の導入に向けた取組について検討を行う。										
課題解決のための取組	部内各課の事業の進捗状況について、定期的な報告を求めることで、予算の執行状況を確認した。また、下水道使用料の改定については所管課において検討を進め、公営企業会計の導入については平成26年度から取り組むこととし、必要経費の予算化を行った。							取組の結果	☐ 解 決 ☒ 未解決		
未解決の課題	下水道使用料の改定や公営企業会計の導入に向けた取組を進めるほか、下水道BCPの策定について行う。										
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)				①効率性 ○		②妥当性 ○		③有効性 ○		④公平性 ○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	下水道使用料の改定や公営企業会計導入等の新たな課題について、関係各課で連携して協議・検討を進める。また、大規模災害等により下水道施設等が被災した場合でも従来より速やかに、かつ高いレベルで下水道が果たすべき機能を維持・回復するために必要な下水道BCPを策定し、運用する。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		A	
※□事業完了											
評価者名				都市整備総務課長				石山 由夫			

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
土木管理運営事務	下水道事業に係る郵便料や保険料、各種負担金など運営に係る庶務を行う。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		530	臨時的任用職員賃金	189	150	○	○	○	○
		530	放流水影響調査対策協議会委員報償費	60	50	○	○	○	○
		530	普通旅費	586	397	○	○	○	○
		530	研修旅費	108	43	○	○	○	○
		530	交際費	5	2	○	○	○	○
		530	消耗品費	230	207	○	○	○	○
		530	郵便料	600	316	○	○	○	○
		530	下水道損害賠償等保険料	1,120	1,123	○	○	○	○
		530	日本下水道協会負担金	570	542	○	○	○	○
		530	日本下水道事業団等負担金	392	326	○	○	○	○
※□事業完了	530	消費税及び地方消費税等公課費	48,000	66,153	○	○	○	○	

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※□事業完了							

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※□事業完了							

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※□事業完了							